会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 第6回美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会
- 2 開催日時 平成27年3月2日(月)午前10時38分から午前11時48分まで
- 3 開催場所 美里町役場3階会議室
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員
副委員長 渋谷 芳和、委員 青木 英治、伊藤 努、佐藤 淳一、鈴木 一子、
田中 由喜子、鈴木 恵美子、今野 由利子、笠原 房子、
 - (2) 事務局
子ども家庭課 課長 安部 直司、参事 奥山 俊之
 - (3) その他
教育総務課 高橋 博喜
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
議事(1) 子ども子育て支援事業計画策定等について(答申)(案)について
(2) その他
会議 公開
- 6 非公開の理由

- 7 傍聴人の人数
0人
- 8 会議資料
美里町子ども・子育て支援事業計画策定等について(答申)(案)
2. 子ども・子育て支援新制度実施に伴う美里町の施設等の認可・運営基準のあり方について
資料1 美里町子ども・子育て支援事業計画(案)
資料2 子ども・子育て支援新制度に関する各種事業等の基準
資料3 子ども・子育て支援新制度における保育認定を受けた子どもの利用者負

担額（保育料）

参考１ 美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会条例

参考１ - 子ども・子育て支援法（抜粋）

追加部分 放課後子ども総合プラン

追加資料１ - １ 放課後子ども総合プランについて

追加資料１ - ２ 「放課後子ども総合プラン」について

前回の「美里町子ども・子育て支援事業計画」一部差替

２８ページ・３７ページ・４３ページ・４９ページ・５１ページ

追加 保育の認定を受けた子どもの利用者負担額（月額）（案）

９ 会議の概要

開会 奥山参事 進行 奥山参事

ただいまから第６回美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会を開催いたします。本日は、皆様お忙しいところご参集いただきましてありがとうございます。本日、委員１１人中９人の委員の出席をいただいておりますので、美里町子ども・子育て支援事業計画策定等委員会条例第４条第２項の規定により、委員の半数以上の出席が必要でございますけれども、本日の定足数を満たしていることを報告いたします。

副委員長あいさつ

澁谷副委員長 皆さんこんにちは。今日は年度末のお忙しい中そして風の強い中お集まりいただきまして大変ありがとうございます。町のほうも明日から３週間にわたり３月議会定例会が開催されます。無事乗り越えて暖かい春を迎えたいと思っております。本日は委員長の塩野先生が公務のため欠席ということで替わって副委員長の澁谷が議事の進行を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

進行

ここで、会議の次第にはございませんが、当委員会の会議運営について委員の皆様にお諮りさせていただきたいと思いますが、副委員長よろしいでしょうか。議事録署名委員ですが、「美里町付属機関等の会議の公開に関する規則」第１５条「会議の作成」には会議録を作成し、当該会議に出席した２人以上の付属機関等の委員の署名を得なければならないとなっております。署名委員には、青木委員さんと佐藤委員さんをお願いしたいと思います。また、議事録の公開につきまして、会議の議事録及び資料は、後日署名をいただいた後に町のホームページに公表させていただくことを了承願います。

議事の進行につきましては、副委員長よろしくお願ひいたします。

議事 議長 澁谷副委員長

副委員長

それでは議事に入らせていただきたいと思います。最初に(1)の子ども・子育て支援事業計画策定等についての答申(案)について事務局からご説明をお願いしたいと思います。

奥山参事

資料1、差替ページの説明。基本的にデータ等の変更はございません。前回1月9日にお示ししたものと変更はございませんが、第3章及び第4章の部分につきましては、第3章計画の基本目標それから第4章基本計画につきましては、かなり変更がございます。最初1月9日にお示しさせていただいた資料の段階では子ども家庭課のほうで作成したものをお示しさせていただきました。その後まちづくり推進課そして教育総務課にこれを見ていただきましたところ、現状にそぐわないというようなこと、このように変えたほうがよいのではないかというようなご指摘がありました。教育総務課そしてまちづくり推進課のほうに基本の部分を書きいただき、子ども家庭課で考えている部分とあわせもったものに変更させていただきました。なお、2月24日まで行っておりましたパブリックコメントにおいては町民の皆様からご意見を頂戴することはございませんでした。変更部分でございますが、29ページ(3)各事業の推進の方向性の保育所【今後の方向性】の部分に、前回「確保方策を検討していきます。」で終了しておりましたけれども、1月9日に佐藤委員からご指摘をいただきました保育士の確保方策を記載するべきでないのかとご意見をいただきましたので、私共で考えている確保方策を、澤村委員からご意見頂戴いたしましたご意見をまとめて「課題となっている保育士の確保については、1日4時間程度の短時間勤務の導入や、通信教育等により保育士資格の取得を目指す方々に対し一定年数の勤務を条件に取得費用の補助を行うなどの方策を検討していきます。」に改めさせていただきました。次に31ページ(1)計画期間における量の見込みでございますが、下から4つ目の「乳児家庭全戸訪問事業」を子どもの出生数と一致させました。その下の「妊婦検診」は「乳児家庭全戸訪問事業」の1年前の数字に変更いたしました。人数の変更それに伴う検診回数を変更いたしております。それに伴いまして36ページ「乳児家庭全戸訪問事業」、37ページ「妊婦健診」の変更後を記載させていただいております。変更

箇所は以上でございます。追加部分、追加資料1 - 1、追加資料1 - 2の説明。追加部分の放課後子ども総合プランの中には、【本町の対応】の(1)から(5)までの項目を美里町子ども・子育て支援事業計画に記載しなければなりません。ページ数で申しあげますと、37ページにあります放課後児童健全育成事業の次に放課後子ども総合プランを付け加えたいと考えております。そうしますとページがずれてまいります。放課後子ども総合プランを含んだ美里町子ども・子育て支援事業計画の位置づけにしたいと考えております。以上でございます。

副委員長

はい、ありがとうございます。奥山参事から子ども・子育て支援事業計画案についての説明がありました。差替えも結構ございます。差替えの部分について何か皆さんからのご質問がございましたら。よろしいですか。はい、次に放課後子ども総合プランの追加部分についての何かご質問ございましたらお願いしたいと思います。ただこれを読んでも理解するのがかなり難しい部分があるんですが。はい。

青木委員

実際形態自体は今と同じようなかたちで運営して行って、不動堂放課後児童クラブと北浦放課後児童クラブは一体型、その他は連携型というふうになるということで、受入人数を少しずつ増やしていくというふうにはなるのでしょうか。

奥山参事

まず放課後児童クラブは、放課後児童健全育成事業で行っております。本日差替ページの放課後児童健全育成事業の【今後の対応】にありますように基本的には6年生まで対象となります。後段にお書きしましたように、現在で正直申しましていっぱいいっぱいになっているところでございます。実際6年生までを対象としますとおそらくスペース的な面から申しまして、それから指導員の集まり具合から申しましてかなり無理が生ずるところでございます。そこで国のほうでは、こどもの数が少なくなると当然空き教室が出てくるだろうと、おそらくその部分から考えたものではないのかなと。その空き教室の有効利用ということがまずひとつあるかと思えます。そして保育が必要なお子さんとそうでないお子さんを一緒にいろいろな体験学習をすすめて行って、次世代豊かな情操を持ったお子さん達を育てていきたいというようなことがあるかと思えます。メインになりますのが、放課後児童クラブとなりますが、実際放課後児童クラブは日曜祝日以外毎日行っております。そして放課後こども教室は週1回ですとか月

1回というかたちだと思いますけれども。放課後子どもクラブに登録しているお子さんは利用できないとなっておりますけれども、みんなで一緒にいろんな体験等をしていこうというようなことで国が考えたというようなところでございます。そして空き教室が増えてくれば、今の各児童館で行っている部分、それを基本的に国では学校から学校といいますか校内の移動だけだと危険な面にあわないですむだろうというのが考えかたで、その空き教室をどんどん利用して有効活用して受入を増やしていくと考えているようでございます。

青木委員

その指導員の不足は、その学校の先生がその放課後に指導するとかではないのですか。

奥山参事

そのようなことはありません。

青木委員

はい、わかりました。ありがとうございました。

副委員長

はい、それではそれ以外ございますか。ご質問、ご意見ございましたらお願いします。それでは事業計画につきましてはよろしいですか。はい、ありがとうございました。それでは次に美里町の施設等の認可・運営基準のあり方について安部課長からご説明をお願いします。

安部課長

はい、それではお手元に2.子ども・子育て支援新制度実施に伴う美里町の施設等の認可・運営基準のあり方について、それから資料2それから資料3をお手元に準備をお願いしたいと思います。2.子ども・子育て支援新制度実施に伴う美里町の施設等の認可・運営基準のあり方について、資料2「子ども・子育て支援新制度に関する各種事業等の基準」で説明。これらを盛り込んだ答申にしたいと思います。その分についてお諮りしたいと思います。

副委員長

はい、ありがとうございました。それでは本町の施設等の認可・運営基準のあり方については、国の基準どおりとするということでもいいんですね。

安部課長

はい。

副委員長

では、皆さんのほうからご質問、ご意見等がございましたら、お願いしたいと思います。じゃあよろしいですか。国に準ずるとなりますがそれでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。それでは3.利用者負担になりますが、安部課長からご説明をお願いします。

安部課長

はい、3.子ども・子育て支援新制度実施に伴う美里町の利用者負担についての説明。資料3「子ども・子育て支援新制度におけ

る保育認定を受けた子どもの利用者負担額（保育料）」の説明。以上ご確認をお願いしたいと思います。

副委員長

それでは利用者負担額について皆さんからご意見、ご質問等がございましたらお願いしたいと思います。幼稚園の保育料については現行どおりとする。ただし、国は所得割を求められておりますので、平成27年度中に検討しながら保育料については設定するかたちになります。県内の市町村で国の示した所得割で保育料を定めたのは富谷町だけです。あとはみな隣の市町村はどのくらいにするのだろうというのが今の現状です。じゃあよろしいですか。はい、それでは利用者負担額については以上で終わらせていただきます。それでは答申を今日行うようですので、安部課長から説明をお願いします。

安部課長

はい、今日ご審議いただいた1点目「美里町子ども・子育て支援事業計画」、2点目「子ども・子育て支援新制度実施に伴う美里町の施設等の認可・運営基準のあり方について」、3点目「子ども・子育て支援新制度実施に伴う美里町の利用者負担について」、これらを今日ご審議いただきました結果に基づいて、町長に本日答申したいと思います。

副委員長

はい、本日答申するということになります。それでは議事の(1)の子ども・子育て支援事業計画策定等についての答申案について全体的に皆さんのほうからご意見、ご質問等がございましたらお願いしたいと思います。じゃあよろしいですか。はい、ありがとうございました。それでは、その他に入る前にちょっと5分ほど休憩を入れたいと思います。

休憩 11:25 から 11:30

教育総務課 高橋係長 出席

副委員長

(2) その他に移ります。まず最初に教育委員会教育総務課から私立幼稚園の利用者負担額についての説明をさせていただきたいと思います。高橋係長。

高橋係長

今お手元にお配りしました資料ですが、前回1月の策定委員会の際にお示しすることができなく今回となりました。私立幼稚園の1号認定の認定した子どもの私立幼稚園に入所したこどもの利用者負担額となります。現在、町内に私立幼稚園は1園もありませんが、大崎市古川に私立幼稚園へ入っているお子さんが、今現在で8名いるという県の情報です。その8名全員が該当するわけではありません。平成27年度から私立幼稚園は新制度に移行する

ことを選択するかあるいは従来の制度に残るか選択ができます。現在新制度に移行しようとしている幼稚園が2園あります。新制度に移行する幼稚園に入った場合はその居住する市町村が決定した保育料を収めてもらうこととなります。「保育の認定を受けた子どもの利用者負担額(月額)(案)」説明。以上1月に遅れまして提案できませんでしたが私立幼稚園の利用者負担について提案いたします。よろしく願いいたします。

副委員長 それでは私立幼稚園の利用者負担額、保育料になりますがこれの算定に大崎市の幼稚園それから各入園したことがある東松島市の幼稚園で積算したことによろしいわけですね。

高橋係長 はい。

副委員長 保育料については、給食費の賄い材料分を除いたかたちで各園の積算根拠を求めたと。それを置き換えてその階層区分ごとの保育料を設定したということになります。最高でも18,400円の月額の負担となります。それでは皆さんのほうから何かご質問、ご意見等がございましたらお願いしたいと思います。

高橋係長 補足ですけれども、その他に入園料、保育料のほかの部分、例えば行事に関するいろいろな費用とか給食費ですとか施設管理費についてはそれぞれ別に幼稚園に収めるというようになります。それは別な徴収になります。

鈴木(一)委員 いいですか。保育料のほかに預かり保育料についてはどのようになりますか。

高橋係長 預かり保育料は別料金になります。これも幼稚園が設定することになります。市町村が設定するのがこの入園料と基本分になる保育料の部分になります。その部分だけです。

副委員長 他にございませんか。公立の幼稚園と比べてやはりかなり利用者負担は高いというかたちになります。公立であってもこのような所得に応じた階層区分で保育料を設定というの国の方針であります。他にございませんか。よろしいですか。はい、この額でお願いしたいと思います。ありがとうございました。それでは最後になりますが、安部課長から美里町子ども・子育て支援事業策定等委員会についてお願いしたいと思います。

安部課長 はい、本日はご審議いただきましてありがとうございました。子ども・子育て支援事業計画につきましては、今回この策定いたしまして、平成27年度以降変更あるいはそれから利用者負担額、現在公立の幼稚園についてまだ利用者負担額を設定しておりませ

るのでこのような案件が出てきた場合につきましては、子ども・子育て支援事業策定等委員会を開催しながらみなさんのご意見を
いただいていくというような流れになりますので、引き続きよろしく
お願いしたいと思います。以上です。

副委員長

はい、その他はこれでよろしいですか。

安部課長

はい、以上です。

副委員長

皆さんのほうからその他のところで何かございましたら。

副委員長

では、議事については以上になります。事務局にお返しします。

安部課長

はい、今日ご審議いただきました結果をもとに町長のほうに答申
をしたいと思います。どうもありがとうございました。以上です。

閉会

奥山参事

以上を持ちまして第6回美里町子ども・子育て支援事業計画策定
等委員会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。
した。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 年 月 日

委 員 _____
委 員 _____